

1 国際バカロレアとは

インターナショナルスクールの卒業生に、国際的に認められる大学入学資格を与え、大学進学へのルートを確保するとともに、学生の柔軟な知性の育成と、国際理解教育の促進に資することを目的として 1968 年に国際バカロレア機構が発足した。国際バカロレア機構は、スイスのジュネーブに本部を置き、認定校に対する共通カリキュラムの作成や国際バカロレア試験の実施及び国際バカロレア資格の授与などを行っている。国際バカロレアには、3 歳～19 歳の子どもの年齢に応じて 3 つのプログラムがある。

(1)PYP (Primary Years Programme: 初等教育プログラム) 3 歳～12 歳

(2)MYP (Middle Years Programme: 中等教育プログラム) 11 歳～16 歳

(3) DP (Diploma Programme: ディプロマ資格プログラム) 16 歳～19 歳

DP の課程を修了し、ディプロマ資格取得のための統一試験に合格することで、国際バカロレア資格を取得することができる。生徒はプログラムの終わりに筆記試験を受ける。また、生徒は学内の課程を全て修了する必要がある（どちらも、教師による評価の後、外部評価が行われる）。**ディプロマ資格を取得するためには、45 点満点中、24 点以上取得することが必要。国際バカロレア資格は、国際的に認められている大学入学資格の 1 つ**であり、日本においても昭和 54 年に「スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で 18 歳に達したもの」について、大学入学に関し高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認められる者として指定された。

2 DP のカリキュラム

ディプロマ取得のためには以下の 3 つの要件を満たす必要がある。

①Extended Essay (EE: 課題論文)

生徒が学んでいる科目に関連した研究課題を決めて、自分で調査・研究を行い、学術論文にまとめる。

②Theory of Knowledge (TOK: 知識の理論)

学際的な観点から個々の学問分野の知識体系を吟味して、理性的な考え方や客観的精神を養う。さらに、言語・文化・伝統の多様性を認識し国際理解を深めて、偏見や偏狭な考え方をただし、論理的思考力を育成する。

③Creativity/Action/Service (CAS: 創造性・活動・奉仕)

教室を出て広い社会で経験を積み、様々な人と共同作業することにより協調性、思いやり、実践の大切さを学ぶ。